

令和元年度(2019)
学校関係者評価報告書

学校法人 SOLA沖縄学園
SOLA沖縄保健医療工学院

(1) 教育理念・目標・人材育成像		自己評価
(1)-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3
(1)-2	学校における職業教育の特色は何か	3
(1)-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
(1)-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2
(1)-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3
(2) 学校運営		自己評価
(2)-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
(2)-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
(2)-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
(2)-4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	2
(2)-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
(2)-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
(2)-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
(2)-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2
(3) 教育活動		自己評価
(3)-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されている	4
(3)-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
(3)-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
(3)-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
(3)-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
(3)-6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
(3)-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4

(3)-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
(3)-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
(3)-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
(3)-11	人材育成目標の達成に向け授業を行う事が出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
(3)-12	関連分野における業界等との連携に於いて優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
(3)-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得する為の研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4
(3)-14	職員の能力開発の為の研修等が行われているか	4
(4) 学習成果		自己評価
(4)-1	就職率の向上が図れているか	3
(4)-2	資格取得率の向上が図れているか	4
(4)-3	退学率の低減が図られているか	4
(4)-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
(4)-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
(5) 学生支援		自己評価
(5)-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
(5)-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3
(5)-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
(5)-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
(5)-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
(5)-6	学生の生活環境への支援はされているか	3
(5)-7	保護者と適切に連携しているか	3
(5)-8	卒業生への支援体制はあるか	3
(5)-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
(5)-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3

(6) 教育環境		自己評価
(6) - 1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
(6) - 2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3
(6) - 3	防災に対する体制は整備されているか	3
(7) 学生の受入れ募集		自己評価
(7) - 1	学生募集活動は、適正に行われているか	3
(7) - 2	学生募集活動に於いて、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3
(7) - 3	学納金は妥当なものとなっているか	3
(8) 財務		自己評価
(8) - 1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
(8) - 2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
(8) - 3	財務について会計監査が適切に行われているか	3
(8) - 4	財務情報公開の体制整備はできているか	3
(9) 法令等の遵守		自己評価
(9) - 1	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	3
(9) - 2	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3
(9) - 3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
(9) - 4	自己評価結果を公開しているか	3
(10) 社会貢献・地域貢献		自己評価
(10) - 1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
(10) - 2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3
(10) - 3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3
(11) 国際交流（必要に応じて）		自己評価
(11) - 1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	/
(11) - 2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	/
(11) - 3	留学生の学修・生活指導等について学内に適正な体制が整備されているか	/

学校関係者評価委員会 開催日

救急救命士学科	2月26日
臨床工学技士学科	1月30日
柔道整復師学科	2月15日
パティシエ・ブーランジェ学科	2月12日

令和元年度 学校関係者評価に関する委員会実施結果について

学校法人 SOLA 沖縄学園 SOLA 沖縄保健医療工学院及びスターウッド BeB 美容専門学校における「令和元年度 学校関係者評価」は、令和元年 10 月に学内評価委員会(委員構成は学園長、学校長、学園本部専務、教学部長、総務部長、各学科長)により、自己点検評価を行い、評価項目内容について改善すべき必要事項を抽出し、そして総合的に評価を実施した。それを基に、「学生の授業アンケート結果」「学科年間教育活動の実績」等資料を加味し、学外からの関係者評価委員と学内評価委員を以て、学科別関係者評価委員会を行い、SOLA 沖縄保健医療工学院とスターウッド BeB 美容専門学校それぞれの学校関係者評価報告書としてまとめた。

本学園では、この度の「令和元年度学校関係者評価」を受け、学園及び各学科において、組織的に学校評価を推進し、質の保証・向上を図っていくよう努めていく。

なお、「自己点検・評価」実施にあたっては、文科省推薦の全国専門学校教育研究会策定の自己点検・評価作成マニュアルを基本に実施した。

学校関係者評価報告書

令和元年度の教育目標に掲げている各学科目標取得資格(国家資格・専門民間資格)の全員合格(合格率 UP)及び就職全員内定(内定率 UP)、退学率(退学者 0 人)を振り返り、目標達成までにあと一歩及ばなかったこと(学科間において差異がみられた点)を次年度の課題として、自己点検・自己評価の点検・評価項目並びに卒業生アンケート、授業アンケート等を前年度と比較しながら取り組み実態や改善策を報告した。その後、各学科委員の皆様方から学校運営状況や自己点検・評価項目に関する意見やご指導をいただき、本報告書としてまとめましたのでご報告します。

1 教育理念、教育目的・教育目標、学校運営

(1) 教育理念

建学の精神、教育理念について、学内においては在校生に対して学生のしおりに記載し、4月の新入生オリエンテーションで説明している。教職員には当年度の学校運営基本方針及び全学職員会資料等(新規採用教職員は新任教員研修会開催時の関係資料等)で周知を図っている。また、学外の方には学校案内パンフレットやホームページ上に掲載し、公表しており適切である。改善策として、教職員の自己点検・評価は必ずしも高い評価が得られていないようであり、研修会の在り方を組織的に検討すべきと考える。

(2) 教育目的・教育目標

教育目的・目標などに関して明文化されており、学校パンフレット、学生のしおり、職員必携、ホームページ上でも公表がなされている。また、学科ごとの保護者会等で、学校の年間活動と実績報告、運営状況を伝えて理解を得ている。改善策として、校務分掌の適切な運営を図るための校務運営委員会や学科長会の定例化、各学科教員会等の各種委員会を通して、さらに進化させていくことを提言したい。

2 教育の内容

(1) 教育課程(カリキュラム作成)

学科ごとの教員及び有識者・業界関係者等で組織している教育課程編成委員会が設置され、職業教育に特化した実践的な教育課程の編成に繋がっていることを評価したい。

(2) 授業・学習プロセスの改善

学生による授業アンケートや非常勤講師提言等に基づく学校側の改革改善努力は常に教育上必要不可欠といえる。教職員研修及び学科教員の熱意ある研究を通して、今後とも学生の授業評価改善・指導の取り組みに努めていただきたい。

(3) 教職員の資質の維持と向上化推進

AIをはじめ、医療業界、健康管理、スポーツトレーニング等、日進月歩で進みゆく今日にあって、教職員のその専門性や指導能力の向上に向けて教職員に対する研修は必要不可欠。外部機関が実施する学科関連学会や研修、専門学校協会主催研修、各種コンクール等には積極的に参加している。今後も専門的知識・技術の維持向上に向けた研修計画を進めていただきたい。また、学内評価委員による教職員の授業参観が定例的にすべての教員に実施が必要と考えられる。臨床工学技士学科や救急救命士学科、パティシエ・ブーランジェ学科では保護者対象に演習授業参観を実施している。学園祭などでの授業参観を全学科導入することを検討いただきたい。

3 教育目標の達成度と教育効果

(1) 教育目標の達成への取り組みと評価

- ① 学生の就職に関する目標、就職活動の記録保管、内定などの検証、実績の公表についての取り組みは評価できる。特に救急救命士学科の公務員対策ゼミや臨床工学技士学科のテーマ研究発表、柔道整復師学科の業界上級役員招聘講座等
- ② 資格・検定・コンクール大会等に関する目標、結果の検証・報告、実績の公表についても適切な取り組みの評価ができる。
- ③ 退学率の報告・公表についても全体的には評価できるものの、迅速性に乏しいところは今後の課題として取り組んでいただきたい。
- ④ 卒業生の就業の把握について一部の学科では追跡調査を実施し、成果を上げているが、対応が十分でない学科があり、次年度より組織的に取り組んでほしい。

4 学習成果

- (1) 各学科で資格取得率を目標に挙げ、放課後特別講習会・勉強会などで達成に向け取り組んでいる。
- (2) 新型コロナウイルス関係で今年の就職対策に遅れがあり、全学あげてその対策に向かっている。昨年度は、就職率の向上に向け、学内企業説明会が実施やインターンシップ、業界役員を招聘し、特別講座・講話等は就職活動に一定の成果を得ている。今後検討していただきたいことは実習先が就職企業の場合は訪問できているが、県外就職の場合、定期的な訪問が厳しいようだが是非打開してほしい。

5 学生支援

- (1) 学生支援体制の整備（入学前）

入学前においてはオープンキャンパス・体験入学・学校説明会参加者の生徒及び社会人、保護者、兄弟姉妹の方々に対して、教育理念・教育目標などを明示され人材育成に関する将来像を説明している。また、入学希望者及び対象者に対して入学前の学習課題や学生生活に向けたオリエンテーションを実施している。課題として次の点を提言したい。①入学前の特別講座開設にあたっては、たとえば、臨床工学技士学科入学者では高等学校においての理科分野や数学分野の科目履修が行われていない学生がいて、それらの基礎学力を高めることも必要と考えられます。具体的に対策を検討してほしい。
- (2) 学生支援体制の整備（在学期間）

担任制を採用し、日常的な面談を実施している。また教育相談室の開設し、心理カウンセラーや校医（専任）、看護師によるメンタルケアをサポートしている。

他方、教職員に対しては教学部会・学科長会などで学生指導（サポート）の状況報告などを通じて情報共有を図っている。学生面談記録や指導記録は文書化され保管されている。

(3) 学生支援体制の整備（卒業後）

卒業1年後の就業の把握・公表については、対応が不十分であり、企業訪問や就職支援検討会等を通してその把握に努める必要がある。また今後は校友会の結成や卒業生への学校情報の発信等を検討され、積極的に支援を行っていくよう改善が必要である。

(4) その他学生支援

保護者や高等学校等への学校情報は担任や入試広報室などから発信されているものの、数年前より学園広報誌が定期的に発信されていない点は早急に改善が求められる。

6 教育環境の整備

(1) 養成指定校施設要件として、設置が義務づけられている図書室や関連図書配置は整備されている。図書検索等に関する情報システム整備は緊急事項と言える。

(2) 学園内の喫煙対策や清掃に関するルール、環境エコ活動、学生専用駐車場に関する規則や交通安全対策に関する文書などの周知徹底が必要です。

(3) 施設設備・備品等の定期的な点検について、エレベーターにあっては定期的実施されている。また、学科特有の施設・教具機器についても定期点検は実施されている。検討すべき事項としては、業者による定期点検報告書は備わっているが、学内記録簿綴が不十分です。備品台帳の定期的な管理が必要である。

(4) 地震・津波・台風及び火災などに関する防災、非常時対策に対して文書化され、学生・教職員の安全安心を確保すべく避難訓練など実施している。

7 学生募集

(1) 学生募集活動は業者主催ガイダンス参加、メディア利用、オープンキャンパス、体験入学、保護者説明会そして高校進路指導との連携を図り、本校の情報提供を行っている。

(2) 学科間での入学者のばらつきについて、在校生の声や進路担当先生との意見交換等を基に総合的広報戦略分析を行い、学生数の落ち込みの打開策を構築すべきと考えます。

(3) 留学生別科開設に向けた具体的指針と取り組みが急がれる。

8 財務

(1) 年度予算編成及び執行については、規程に基づき対応されている。

- (2) 法人としての財務についてはホームページでも公表している。なお、適切に外部監査を受けている。
- (3) 今後の改善施策として、18歳人口の減少や高校新卒者の就職率、新設専門学校等外部要因によって収支への影響に耐える財務基盤の構築が必要と考えます。創立30年を迎え、多数の卒業生を輩出し、社会的にも活躍するみなさんとの連携も早急な課題であり、同窓会の結成活動は学園として重点的施策として進めていくべきです。

9 法令遵守・改革改善

- (1) 自己点検・評価委員会を設置し、組織的に評価改善を継続的に実施している。今後の課題として、点検評価の改善計画に基づく結果の検証を必要とします。

10 国際関係

- (1) 国際交流に向けた具体的な取組について具体化していくことが必要です。